



いずみ野

令和2年9月30日

校長 齋藤 敦子

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/izumino/>

学校教育目標 「自分が好き 友達が好き 学校が好き このまちが好き」
～心豊かに学び合い、ともによりよく生きようとする子～

「〇〇したい！」が増える いずみ野の子

校長 齋藤 敦子

涼しい風が通りぬける日が増え、田んぼの稲穂の頭^{こうべ}も大きく垂れ、秋の訪れを感じます。前期もあと少しとなり、令和2年度も折り返し地点にたどり着けるのも、「地域の中の学校」として、多くの方々にお力添えをいただいているお陰と感謝申し上げます。

いずみ野小学校は昇降口が一つです。そこでは全校の子どもたちと顔を合わせることができ様々なコミュニケーションが生まれます。進んであいさつを交わす子、今日の暑さ指数で外遊びや体育や田んぼの活動ができるかを予想する子、暑さ対策のミストに虹が見えたと教えてくれる子、落とし物を見つけては「あっ！〇〇さんのだよ！」と知らせてくれる子、日常のちょっとした「対話」、子どもたちの声は学校の宝です。

さて、本年度から小学校では新学習指導要領が完全実施されています。新たな教育が始まっています。導入理由は、「社会の変化に対応し、生き抜くために必要な資質・能力を備えた子どもたちを育む」ためです。受動的にただ言われたことを学ぶのではなく、主体的（〇〇したい）に学習に取り組む態度も含めた学ぶ力を子どもたち一人ひとりが身に付けていくことを目指しています。そこで「あゆみ」にも取り入れる評価の「観点」について、お伝えしたいと思います。今までと違うのは、4観点、5観点あった観点が3観点①「知識・技能」②「思考・判断・表現」③「主体的に学習に取り組む態度」にまとめられました。

「主体的に学習に取り組む態度」の観点が以前の「関心・意欲・態度」となっています。キーワードとしては、「粘り強い取組」や「自らの学習を調整する」があげられます。その教科の学習が好きで、意欲的に取り組み、手を挙げて発表したり、ノートを丁寧にまとめたりするだけでは到達したことにはならず、さらに深い部分を見ていきます。各教科の内容を理解するために、「いかに調整して、知識を習得するために試行錯誤してるか」という部分を評価していくことになります。自ら主体的に学びを工夫して計画をしたり、学んで得たことを自分の生き方や社会に生かしていこうとしたりしているか等も見るようになります。



23日(水)6年生を中心に たてわり活動がスタート！

今学校では、経験したことのない新型コロナウイルスへの対応や判断に日々、試行錯誤と調整の連続を行っています。子どもたち一人ひとりが自分の成長をしっかりと振り返り、後期へのめあてがもてるよう、子どもたちが「〇〇したい！」と思えるような粘り強い取組を進めて参りたいと考えています。

保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。